

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

令和 2 年度病害虫発生予察注意報第 1 号を発表したので送付します。

令和 2 年度病害虫発生予察注意報第 1 号

- 1 作物名 さとうきび
- 2 害虫名 ツマジロクサヨトウ (*Spodoptera frugiperda*)
- 3 発生地域 沖縄群島、宮古群島、八重山群島
- 4 注意報発令の根拠
石垣島における 4 月のほ場調査の結果、株出管理ほ場において本種幼虫が確認された (図 1)。発見された幼虫は若齢～中齢で、調査した 16 ほ場中 3 ほ場で確認された。
また、4 月のフェロモントラップ誘殺虫数 (成虫) は、沖縄本島 49 頭、宮古島 2 頭、多良間島 165 頭、石垣島 6 頭、与那国島 11 頭であった。
- 5 発生生態および被害
(1) 本種は、幼虫が新葉の葉鞘部を食害する。摂食量が多く、食害部には多量の糞が散在する (図 2、図 3、図 4)。
(2) 形態: 終齢幼虫は体長約 40mm で頭部の複眼と前額の境界に淡色の逆 Y 字状模様および尾部の黒色斑点が特徴である (図 5、図 6、図 7)。卵は寄主植物に塊状に産み付けられ、メスの体毛で覆われる。
(3) 寄主植物: 本種の寄主範囲は極めて広い。主な寄主植物は以下のとおりである。
アブラナ科 (カブ等)、イネ科 (トウモロコシ、イネ、サトウキビ、ソルガム等)、ウリ科 (キュウリ等)、キク科 (キク等)、ナス科 (トマト、ナス等)、ナデシコ科 (カーネーション等)、ヒルガオ科 (サツマイモ等)、マメ科 (ダイズ等) など。
- 6 防除上注意すべき事項
(1) 多発すると被害が拡大する恐れがあることから、ほ場をよく見回り幼虫の早期発見・防除に努める。発生ほ場においては、別紙に指定する薬剤の散布を行う。
(2) 農薬の使用にあたっては、散布は無風又は風が弱い時に行うなど近隣に影響が少ない天候や時間帯を選び、風向、防除器具のノズルの向き等にも十分注意するとともに、隣接農作物の栽培者に対して散布予定農薬の種類や散布時期等を事前に連絡するなど、農薬の飛散 (ドリフト) に留意する。
(3) 粒剤を使用する場合、有効成分の浸透までに期間を要することから、本種発生時は、速効性のある散布剤等による防除を行う。
(4) 生態などの詳細については、農林水産省ホームページ、「ツマジロクサヨトウ」防除マニュアル本編 (第 1 版) を参照して下さい。
URL : https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html



図1 サトウキビ発生ほ場 (株出管理)



図2 多量の糞



図3 葉鞘部に潜む幼虫



図4 食害痕



図5 幼虫 (全体)



図6 幼虫 (頭部拡大)

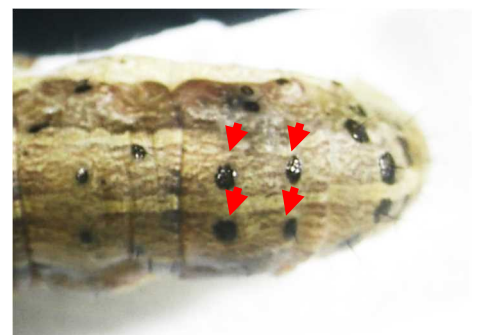


図7 幼虫 (尾部拡大)

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★
TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0980-82-4933
ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojjo/index.html>

(別紙)

ツマジロクサヨトウに対しては 以下の農薬を使用して防除を行ってください。

以下に記載した農薬はツマジロクサヨトウに対して登録はありませんが、植物防疫法第 29 条第1項の規定による防除を行うために使用が可能です。

また、使用にあたっては購入した農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍数、使用量、使用回数を守ること、出荷停止等、流通に支障が出ることもありません。

○サトウキビで使用可能な農薬

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BPMC・MEP乳剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
BPMC・MEP粉剤	散布	収穫45日前まで		3～4kg/10a	4回以内
BPMC乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
MEPマイクロカプセル剤	散布	収穫90日前まで	-	500～1000倍	4回以内
MEP乳剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
MEP粉剤	散布	収穫45日前まで		3～4kg/10a	4回以内
カルボスルファン粒剤	株元処理土壌混和	培土時		6～9kg/10a	1回
カルボスルファン粒剤	植溝処理土壌混和	植付時		6～9kg/10a	1回
クロチアニジン水和剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	2500倍	3回以内
クロチアニジン粒剤	植溝処理土壌混和	植付時		6kg/10a	1回
クロラントラニプロール・ジノテフラン水和剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	5000倍	3回以内
クロラントラニプロール粒剤	株元散布	生育期但し、最終培土まで		4～6kg/10a	1回
クロラントラニプロール粒剤	植溝土壌混和	植付時		4～6kg/10a	1回
フィプロニル粒剤	株元処理土壌混和	培土時		6kg/10a	1回
フィプロニル粒剤	植溝処理土壌混和	植付時		4～6kg/10a	1回
プロチオホス粉粒剤	株元処理土壌混和	生育期但し、収穫90日前まで		15kg/10a	2回以内
ベンフラカルブ粒剤	株元散布又は株元土壌混和	培土時		4～6kg/10a	1回
ベンフラカルブ粒剤	植溝土壌混和	植付時		6～9kg/10a	1回